

福祉サービス第三者評価基準

【 共 通 版 】

H28年4月1日改定

評価対象 I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a (b) c
<p>評価概要</p> <p>保育所として目指す方向性やその達成のための方針や姿勢は、理念・めざす子ども像・園の方針として明文化されている。“ともに育ちあう”全ては子どもたちの「今の幸せ」のため！そして「未来の幸せ」のため！と事務室に掲示され、職員会議の中で周知が図られている。保護者等にも登園心得や絵本的なコンセプトブックを配布して周知を図り、保護者アンケートの中で周知状況について把握している。地域にもその取り組みが広がることをを期待したい。</p>		

I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a (b) c
<p>評価概要</p> <p>社会福祉事業の動向については園長が県私立幼稚園協議会長をになっているため、幼保連絡協議会や社会福祉法人経営者協議会等のいろいろな研修や会議の中で把握し、施設の位置する地域の子どもや利用者像の変化、保育ニーズ等の現状分析は行われている。また、経営状況も考慮しながら、将来の子どものために「子どもまんなかproject」という組織に加入し活動している。</p>		
3	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a (b) c
<p>評価概要</p> <p>保育所として経営環境や現状分析からの課題や問題について主任以上が集まって毎月会議を開催し、現状を把握・分析して課題解決に向けた取り組みを話し合っているが、現場の職員にまでは落とし込まれていない。目的を明確にした会議や必要な委員会を組織するなど、職員参画のもとでこれらの取り組みを機能させることを期待したい。</p>		

I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a (b) c
<p>評価概要</p> <p>保育所の理念や基本方針の実現に向けた経営環境等の把握・分析を踏まえた中・長期計画のスケジュールは一覧表に策定されているが、達成基準を明確にし数値化された目標になっているとはいえない。保育の充実や課題の解決、地域ニーズにもとづいた福祉サービスの実施といった目標を設定し、成果をだすためのプロセスを見える化してその実施状況や結果を評価していく仕組みの構築を期待したい。</p>		

5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a (b) c
<p>評価概要</p> <p>単年度の事業計画について、主任以上の会議で検討され中・長期計画を反映させた内容になっているが、成果を出すための見える化は十分とは言えない。単年度の計画においても中・長期計画に沿った実現可能な目標や事業計画・収支計画を策定し、その実施状況について定期的な進捗の確認を行い、定量的な分析が可となるような仕組みの構築を期待したい。</p>		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a (b) c
<p>評価概要</p> <p>事業計画の策定について主任以上の職員で話し合い検討されているが、定期的な実施状況の進捗の確認は十分とは言えない。事業計画を職員に説明し理解させうえて、職員参加のもとで進捗状況の確認や評価結果の見直しに取り組まれることを期待したい。</p>		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a (b) c
<p>評価概要</p> <p>「ともに育ちあう」という毎月のたよりを保護者等に配布し、行事計画等についてよく理解してもらえよう努めている。入学式等で年度の事業計画について保護者等に配布して説明しているが、その印刷物の工夫は十分とは言えない。事業計画の主な内容等を簡潔にまとめたようなものなど、理解しやすさに配慮した工夫を期待したい。</p>		

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a (b) c
<p>評価概要</p> <p>日常的な保育の質の向上に向けて、保護者等の評価アンケートと職員のセルフチェックのアンケートを実施しているが、その結果を検討して見直しするまでには至っていない。今年度初めて受審した第三者評価や自己評価等の評価を職員参画のもとで検討し、PDCAサイクルに基づき保育の質の向上に向けた継続的な改善活動を実施していく仕組みの構築を期待したい。</p>		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a (b) c
<p>評価概要</p> <p>実施した保護者アンケートや自己評価および第三者評価の結果をもとにして、主任以上の会議や職員会議で改善課題を明確にし、職員参画の下で保育所として保育の質の向上に向けた改善策や改善計画を策定し、改善のための取り組みを計画的に行うことを期待したい。</p>		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ－１ 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ－１－（１） 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ－１－（１）－① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a (b) c
<p>評価概要</p> <p>子どもの最善の利益を考えた「子どもまんなかproject」という活動を展開するなど質の高い保育の実現を目指しているが、保育所をリードする立場として、職員に対して自らの役割と責任を明らかにしているとはいいがたいので、管理規程の見直しや組織図、職務分掌などの作成をすることや不在時の権限委任等を明確にすることが望まれる。</p>		
11	Ⅱ－１－（１）－② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a (b) c
<p>評価概要</p> <p>施設長は必要な研修に参加して遵守すべき法令等を理解し、行政関係者等と適正な関係を保持しているが、保育所における体制づくり等は十分とは言えない。職員に対して遵守すべき法令等を周知し、法令遵守の徹底に向けた規程の整備や体制の構築などの取り組みを期待したい。</p>		
Ⅱ－１－（２） 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	Ⅱ－１－（２）－① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a (b) c
<p>評価概要</p> <p>施設長は保育の質の現状について、職員会議や各組の保育状況を観察したりセルフチェックのアンケートの分析から課題を把握している。施設長の考える一日一話、絵本のような見える保育を実践するためにも職員一人ひとりと定期的に面談する機会を持ち、職員の意見を反映させて保育の質の向上を推進させるような取り組みを期待したい。</p>		
13	Ⅱ－１－（２）－② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a (b) c
<p>評価概要</p> <p>施設長は経営の課題や業務の実効性を高めるために、毎月経営コンサルタントによる月次診断、チェックなど財務等の指導を受けている。また効果的な業務を実現するためにICTの活用にも着手している。毎月の給料明細の中に「今月の言葉」というメッセージを入れるなど職員との温度差を少なくし、職員全体で効果的な事業運営を目指している。</p>		

Ⅱ－２ 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
Ⅱ－２－（１） 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	Ⅱ－２－（１）－① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a (b) c
<p>評価概要</p> <p>次年度以降の改築を計画している中で経営面のことはあるが人材を増やし、4、5歳組を分けてきめ細かい保育を推進たいと考えている。また放課後デイサービスや療育の必要性から看護職や社会福祉士など特別支援の専門職も考慮されている。育成、定着を意識して養成校、ハローワーク、知り合い等を通しての人材確保などの採用活動が実施されている。</p>		
15	Ⅱ－２－（１）－② 総合的な人事管理が行われている。	a (b) c
<p>評価概要</p> <p>保育所における「期待する職員像」は明確にされているが、人事基準は定められていないため職員の貢献度を評価する仕組みも十分ではない。労働局に提示されたキャリアパスを使っているが、職員の意向等も確認しながら人事基準を確立し、当施設にあった職員一人ひとりが自らの将来の姿を描けるような仕組みづくりを期待したい。</p>		

Ⅱ－２－（２） 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	Ⅱ－２－（２）－① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a (b) c
<p>評価概要</p> <p>働きやすい職場づくりに向けた有給休暇の取得状況について計画的な付与までは至っていない。ワークライフバランスに配慮した取り組みとして短時間雇用を導入するとともに、状況が許せば常勤パートや正規雇用へ登用するなど、ライフステージに応じて働き方を選択できるように配慮している。相談しやすい環境づくりのために、定期的な個別面談の実施や悩み等の相談窓口等の設置、職員の日常生活に対する支援などの福利厚生仕組みづくりも期待したい。</p>		
Ⅱ－２－（３） 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	Ⅱ－２－（３）－① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a (b) c
<p>評価概要</p> <p>保育所としての「期待する職員像」は理念や基本方針等に明確にされているが、職員一人ひとりの目標設定にあたって個人面談するなどの育成に向けた支持的・援助的な支援は十分とは言えない。職員一人ひとりの知識・経験等を把握しモチベーションを高めるような支援を行い、職員一人ひとりが保育所の目標を理解し、その達成のため職員一人ひとりが目標項目、目標水準、目標期限を明確にし進捗状況や目標達成度の確認ができるような仕組みづくりが望まれる。</p>		
18	Ⅱ－２－（３）－② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a (b) c
<p>評価概要</p> <p>保育所が目指す保育を実施するために、保育所の基本方針等に求められる職員のあり方は明確にされているが、保育所がこれからの運営に必要な専門技術や資格は明示されていない。また保育所が実施する保育所全体の質の向上のために正規職員だけでなく、すべての職員について教育・研修の機会が与えられることを期待したい。</p>		
19	Ⅱ－２－（３）－③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a (b) c
<p>評価概要</p> <p>職員一人ひとりの知識、水準、資格等の把握は十分でなく、職員の習熟度に配慮した個別的なOJTが行われているとはいいがたい。外部の研修の情報提供を適切に行い、シフト等も考慮して職員の職務や必要とする知識、技術に応じた段階的な研修計画と実施を期待したい。</p>		
Ⅱ－２－（４） 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	Ⅱ－２－（４）－① 実習生等の保育に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a (b) c
<p>評価概要</p> <p>保育に関わる専門職の研修・育成への協力は保育所の社会的責務の一つある。実習マニュアルは整備されているが受け入れ体制等は十分とは言えない。地域の特性や状況から養成校等からの実習生がなかなか来ない状況であるが、効果的な研修・育成のためにマニュアルの見直しを行うと同時に養成校等への働きかけを期待したい。</p>		

Ⅱ－３ 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
Ⅱ－３－（１） 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	Ⅱ－３－（１）－① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a (b) c
<p>評価概要</p> <p>ホームページ等の活用により、保育を必要とする保護者等が保育所の理念や基本方針、保育の内容、事業計画、決算報告等の内容を知るための情報は適切に公開されている。また、保護者等に向けた保育所で行っている行事や活動報告を毎月の広報誌「ともに育ちあう」等のたよりで公表している。地域社会に対しての説明の工夫がされれば申し分ない。</p>		

22	Ⅱ-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a · (b) · c
<p>評価概要</p> <p>保育所における事務・経理・取引等に関しては、経理規程等に沿った会計処理がなされ、内部経理監査を定期的実施したり外部の専門家にチェックしてもらうなど事業の経営・運営を適正に確保している。職務分掌や権限規程等明確にされておらず職員への周知は十分とは言えない。</p>		

Ⅱ-4 地域との交流, 地域貢献

		第三者評価結果
Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	Ⅱ-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a (b) c
<p>評価概要</p> <p>子どもと地域の人々の交流は地域と保育所の交流を促進することの考え方のもと、夕涼み会や肝付町の幼保一緒の運動会等の案内をしている。また子どもの地域活動への参加に活用できるよう地域の情報等を案内情報版で保護者に提供しているが、子どもの地域での活動の実績は十分とは言えない。例えば、考えられているわらべ歌を題材にしたものなどを世代間交流の場での発表するなどの活動を積極的に実施されることを期待したい。</p>		
24	Ⅱ-4-(1)-② ボランティア等の受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a (b) c
<p>評価概要</p> <p>地域の中学校の体験学習等の受け入れの実績はあるが、ボランティアの受け入れや学習等への協力に関する方針等のマニュアルは整備されていない。ボランティアの受け入れにあたっての手順や流れ、保育所側の姿勢や受け入れ方針、体制等が明確になされることを期待したい。</p>		
Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	Ⅱ-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a (b) c
<p>評価概要</p> <p>子どもにより良い保育を提供するための必要な社会資源はリスト化されているが、職員間での共有化は十分とは言えない。小学校や幼保連絡協議会等との定期的な連絡会は行われ、家庭で疑われるような虐待等の問題解決に向けて児童相談所等と協議するために段取りはできている。</p>		
Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	Ⅱ-4-(3)-① 保育所が有する機能を地域に還元している。	a (b) c
<p>評価概要</p> <p>保育所内に交流スペースを確保し地域に開放できるようにしている。親子通園を行い子育て中の親同士が情報交換できる場を提供しているが、地域の人々の利用やコミュニケーションを活発にするようなことにはあまり利用されていない。保育所の専門的な社会資源を利用した相談事業等への取り組みなど地域活性化への取り組みを期待したい。</p>		
27	Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a · b (c)
<p>評価概要</p> <p>地域住民からの意見や要望を把握するための主体的な動きも十分でなく保育所の基幹事業以外の公益的な事業は実施されていない。保育所が地域社会における福祉向上の役割を果たすために、民生委員・児童委員等の地域の力と連携し地域の福祉ニーズを把握して、保育所による専門的な支援だけでなく地域住民の主体的な活動を促進・支援することが望まれる。</p>		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a (b) c
<p>評価概要</p> <p>毎年、虐待防止の外部研修に参加した職員が、園内において他職員への報告会を行うなど基本的人権への共通理解における取組が行われている。また、子ども同士が互いを尊重し合えるよう、障害がある子どもへの理解を促すため、互いの良い所を知り助けあえるよう日々の保育の中で意識した働きかけが行われている。ただ、子どもの尊重や基本的人権への配慮について、定期的な状況の把握・評価等までは行われていないため、今後の取り組みに期待したい。</p>		
29	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	a · b (c)
<p>評価概要</p> <p>施設整備的な環境要因もあると思われるが、年長児でも男女が一緒に着替えをするなど、現在は子どものプライバシーへの十分な配慮ができていない状況である。今後は、子どものプライバシー保護における規程・マニュアルを整備し、職員への周知及び子ども・保護者への十分な説明がなされることで、子どもへのプライバシーと権利擁護に配慮したより質の高い保育の実施が望まれる。</p>		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a (b) c
<p>評価概要</p> <p>保育所を紹介する資料として、子どもを含め誰が見てもわかるよう、ホームページや園を紹介する絵本が製作されており、利用希望者等へ個別に丁寧な説明が行われている。今後は、利用希望者が保育所を選択するために必要な情報提供を積極的に行い、公共施設へのパンフレットの配置等の検討を期待したい。</p>		
31	Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a (b) c
<p>評価概要</p> <p>保育の開始においては重要事項説明書・登園心得により、園の説明がなされ保護者の同意が得られている。重要事項等の変更がある場合は、入園式や保護者の参加が多い遠足時等で説明がなされ、欠席者についてもその後個別に対応している。</p>		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更や家庭への移行等にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a (b) c
<p>評価概要</p> <p>保育所等の変更がある場合の引き継ぎ文書及び申し送りの手順が定められたものは整備されていない。転園後の相談窓口や担当者は明記されていないが、総務主任・主任が対応を行っており、口頭では相談があればいつでも相談を受ける事は伝えている。今後は、子どもが園を変更した場合でも継続した保育が提供されるよう、引き継ぎや申し送りの手順・文書の内容等を定める事が望まれる。</p>		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a (b) c
<p>評価概要</p> <p>保護者アンケートを毎年行い、保育面談も定期的に行う中で保護者の満足度を把握し、結果をホームページで公表している。保護者からの希望・要望への取り組みとして、昨年のアンケートの希望を受け、今年度は保育参観を実施し保護者からの評価も得られている。今後は、子どもたちからも満足度の把握ができるような取り組みがなされることを期待したい。</p>		

Ⅲ－１－（４） 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ－１－（４）－① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a・b・c
<p>評価概要</p> <p>相談・苦情等に関する相談窓口については、重要事項説明書に明記され、第三者委員も設置されている。また、同様の書面が園の入り口に掲示されており、意見箱ポストも設置され、日々の連絡帳の中で相談・苦情が記載されている事も確認できた。ただ、苦情解決についての仕組みを全職員が把握し、十分に機能しているとは言えない状況もあるため、保護者への苦情のフィードバックを含め、苦情解決の仕組みがより機能し、保育の質の向上につながる事が望まれる。</p>		
35	Ⅲ－１－（４）－② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a・b・c
<p>評価概要</p> <p>日常的に保護者に積極的にことばをかけ、保護者からの相談や意見等については、日々の送迎時や連絡帳の中で対応している事は聴取の中で確認できた。ただ、保護者が相談したいときや意見を述べたいときにその方法や相手を選択できる環境が十分に整い、周知されているとは言えない状況もあるため、保護者が必要に応じて相談や意見が述べやすい仕組みづくりを組織として構築することが望まれる。</p>		
36	Ⅲ－１－（４）－③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a・b・c
<p>評価概要</p> <p>保護者からの意見や相談については、感染症の情報提供の希望を受け、病欠児童の掲示をするなど、その都度対応している。ただ、保護者からの意見や・要望、提案等への対応を確実にし、その仕組みを確立するための対応マニュアルの整備ができていないため、今後はマニュアルを整備し、見直しを定期的に行いながら、具体的に保育の改善につなげる取り組みを期待したい。</p>		
Ⅲ－１－（５） 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ－１－（５）－① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a・b・c
<p>評価概要</p> <p>リスクマネジメント体制については、事故発生対応マニュアルが作成され、毎年事故防止に関する外部研修に職員を派遣し、他職員への報告会を行い情報共有を図っている。また、子どもが使用する遊具の安全点検も毎月行い、必要に応じ修繕が行われている。今後は、現在主任が行っているリスクマネジメントに関する責任者を明確にし、ヒヤリハット・事故報告の収集結果の要因の分析・改善策・再発防止策等を検討し実施するという継続した取り組みが望まれる。</p>		
38	Ⅲ－１－（５）－② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a・b・c
<p>評価概要</p> <p>感染症予防や発生時の対策についての責任者及び職員の役割については明確にされていないため、今後は具体的なマニュアル（責任を明確にした安全確保のための体制の確立、担当者・担当部署の設置、定期的な検討・評価・見直しの実施の場を設ける等が記載されたもの）の整備が望まれる。感染症の予防や発生時に感染を広げないための対策について保護者への周知も必要である。</p>		
39	Ⅲ－１－（５）－③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a・b・c
<p>評価概要</p> <p>災害時等に子どもの安全を確保するため、毎月、避難訓練を行い防災計画の中にも消防立会いのもとで訓練の実施が明記されている。災害時の安否確認の方法として、モバイルメールを活用し、保護者へ一斉送信する方法が確立されている。災害時の備蓄品については現在検討中とのことなので、備蓄リストを作成し、管理者を決めた上で備蓄の整備を期待したい。</p>		

Ⅲ－２ 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ－２－（１） 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ－２－（１）－① 提供する保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	a・b ○ c
<p>評価概要</p> <p>標準的な保育の実施方法を文書化したマニュアルは現在作成中とのことで、平成29年度よりマニュアルに沿った保育が行えるよう準備中である。マニュアルには、子どもの尊重、プライバシー保護や権利擁護に関わる姿勢が明示され、全職員に周知徹底するための方策が講じられることが求められる。また、マニュアルに基づいて保育が実施されているかが確認できる仕組み作りも必要である。</p>		
41	Ⅲ－２－（１）－② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a ○ ・c
<p>評価概要</p> <p>平成29年度より作成予定のマニュアルに基づいた保育が行われているが、標準的な保育の実施方法は文書化されていない。定期的な検証・見直しを行う際に、保護者や職員の意見・提案が反映される仕組みとなることを期待したい。</p>		
Ⅲ－２－（２） 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
42	Ⅲ－２－（２）－① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	a ○ ・c
<p>評価概要</p> <p>児童調査・児童票という定められた書式によりアセスメントが行われ、アセスメントにもとづき担任が指導計画を作成し主任が確認をするという仕組みができています。3歳未満児と障害がある子どもについては個別の指導計画も作成されていることが確認できた。今後は指導計画策定の責任者を明確にし、計画策定にあたり、子どもに関わるさまざまな職種の関係者が参加して計画策定を行うことで、子どもの発達段階や保護者のニーズにあったより質の高い指導計画が策定されることを期待したい。</p>		
43	Ⅲ－２－（２）－② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a ○ ・c
<p>評価概要</p> <p>指導計画の書式の中に評価の項目があり、定期的な評価は行われている。ただ、指導計画を評価・見直し・変更するための手順が定められていないため、責任者を明確にし、保育の実施状況が責任者に確実に伝わり、状況に応じた見直し・変更等の対応ができるような仕組み作りを期待したい。</p>		
Ⅲ－２－（３） 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
44	Ⅲ－２－（３）－① 子どもに関する保育の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a ○ ・c
<p>評価概要</p> <p>子どもの発達状況や生活状況等が統一した書式により把握できており、個別の指導計画にもとづいた保育が実施できている事も記録から確認できた。記録をする職員により、記録内容等に差異が生じる事もあり、主任等が口頭で説明を行っているため、どの職員でも必要事項等に漏れが無いようポイントを押さえた記録ができるためには、記録要領等を整備し職員間での情報共有の流れを明確にすることが望まれる。</p>		
45	Ⅲ－２－（３）－② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a・b ○ c
<p>評価概要</p> <p>記録の管理についての責任者は明確にはされておらず、個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法も誓約書等に明記されていない。また、個人情報保護についての職員への教育・研修も現在は行われていないが、保護者への説明と合わせて、今後取り組む予定があるとのことなので計画的に実践されることを期待したい。</p>		

福祉サービス第三者評価基準 【 保育所版 】

（様式2）

〔H28改訂版〕

第三者評価内容評価基準（保育所版）

A-1 保育内容

A-1-(1) 保育課程の編成	第三者評価結果
<p>A① A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。</p>	a (b) c
<p>評価概要</p> <p>○保育課程は、園の理念や保育方針・目標に基づいて担任が原案を作成し、主任・園長により編成されている。</p> <p>○ただ、地域の実態や、細かい家庭の状況等が十分反映されたものとなっていないという職員の認識もあるため、今後は、さらに情報収集を行い、多くの職員参画のもと、定期的な評価を行う事で、より質の高い保育課程が編成されると思われる。</p>	
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	第三者評価結果
<p>A② A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。</p>	a (b) c
<p>A③ A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。</p>	a (b) c
<p>A④ A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることのできる環境の整備、援助を行っている。</p>	a (b) c
<p>A⑤ A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。</p>	a (b) c
<p>A⑥ A-1-(2)-⑤ 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	a (b) c
<p>A⑦ A-1-(2)-⑥ 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	a (b) c
<p>A⑧ A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	a (b) c
<p>A⑨ A-1-(2)-⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	a (b) c
<p>A⑩ A-1-(2)-⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	a (b) c
<p>A⑪ A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づき、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。</p>	a (b) c

<p>評価概要</p> <p>○子どもたちが多くの時間を過ごす園の環境として、0、1歳児専用の生活空間が設けられるなど、月齢に応じた環境が整えられ、寝具や玩具の定期的な消毒等衛生面に配慮された保育が行われている。特に乳幼児においては、ベビーサインを取り入れたり、手作り玩具で遊びを展開するなどの工夫もみられる。連絡帳や送迎時を活用し、家族との連携が図れるよう担任だけでなく、主任も積極的に家族への働きかけを行っている。また、子どもの発達段階に応じ、基本的な生活習慣が身につけられるよう、遊びの中でお弁当を包む練習を取り入れるなどの実践がなされている。自分の気持ちを十分に表現できない子どもや、障害がある子どもへの対応は、できるだけ個別の関わりを大切にしながら、自分の気持ちを表現できる機会を設けている。園周辺は自然豊かな環境であり、外遊びも多く取り入れながら、雨天時でも利用できる体育館も活用し異年齢の友だちとの関わりも持たせている。子ども同士のトラブルについては、解決が難しい場合は保育士が介入し、社会のルールについても学べる機会としている。</p> <p>○今後は、継続した支援をより意識し、保護者や年長児が小学校以降の生活について見通しが持てるような機会を増やし、社会体験や地域の人たちに接する機会を多く持つことで、子どもたちの豊かな感性が育ち、主体的に自然や社会に関わる気持ちが育まれると思われる。</p>	
<p>A-1-(3) 健康管理 第三者評価結果</p>	
<p>A⑫ A-1-(3)-①</p> <p>子どもの健康管理を適切に行っている。</p>	<p>a (b) c</p>
<p>A⑬ A-1-(3)-②</p> <p>健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。</p>	<p>a (b) c</p>
<p>A⑭ A-1-(3)-③</p> <p>アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。</p>	<p>a (b) c</p>
<p>評価概要</p> <p>○健康管理の取り組みについては、毎年年度初めに保護者から子どもの健康に関する必要な情報を得たうえで、年に2回の健康診断・歯科健診を行い、結果を保護者へ伝え必要な治療等の働きかけを行っている。また、職員に対しては園児の診断結果をファイルに綴り、閲覧できるようにしているが全職員が閲覧できているかの確認はできていない。アレルギー疾患・慢性疾患のある子どもへの対応として、家族からの依頼により給食室と連携を図りアレルギー除去食を適切に提供している。</p> <p>○今後は、乳幼児突然死症候群に関する知識を職員間で共有し、保護者へも情報提供を行い、十分な配慮を行う事で事故を未然に防ぐ事ができると思われる。また、健康管理マニュアルを作成する準備を進めているという事なので、健康管理の実施体制が整備されることが望まれる。</p>	
<p>A-1-(4) 食事 第三者評価結果</p>	
<p>A⑮ A-1-(4)-①</p> <p>食事を楽しむことができるよう工夫をしている。</p>	<p>a (b) c</p>
<p>A⑯ A-1-(4)-②</p> <p>子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。</p>	<p>a (b) c</p>
<p>評価概要</p> <p>○子どもたちが食事を楽しくおいしく安心して食べる事ができるよう、食育活動やクッキングを取り入れ、季節に合わせた行事食を提供する等の工夫がなされている。また、栄養士が子どもたちと一緒に食事を摂ることで摂食状況を確認し、子どもたちの好みの把握もできている。</p> <p>○今後は、子どもたちが、落ち着いて食事をとれる環境・雰囲気づくり・保育士の食事のことばかけにおいて、職員間で意見交換をし、改善点を見直すことで、子どもたちの食に対する前向きな気持ちをより育むことができると思われる。</p>	

A-2 子育て支援

A-2-(1) 家庭との緊密な連携		第三者評価結果
A⑰ A-2-(1)-①	子どもの生活を充実させるために、家庭と連携を行っている。	a (b) c
<p>評価概要</p> <p>○家庭との連携においては、主に日々の連絡帳や送迎時の保護者とのやり取りの中で行われている。保育面談を設け、家庭での状況把握や園での子どもの様子を伝えるなど保護者とともに子どもの成長を喜び合い、課題解決に向けた方向性も確認しあっている。</p> <p>○今後は、保護者からの情報を職員間で共有する仕組みを構築し、保育の意図や保育内容についても保護者に積極的に発信していくことで、園への理解もより深められると思われる。</p>		
A-2-(2) 保護者等の支援		第三者評価結果
A⑱ A-2-(2)-①	保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a (b) c
A⑲ A-2-(2)-②	家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a (b) c
<p>評価概要</p> <p>○保護者等の支援においては、保育面談を年2回実施・記録し、その結果を受けて保護者からの要望・希望を取り入れている。今年度から実施した保育参観も保護者の希望により行ったもので、保護者からは園での子どもの様子がよくわかったと好評であった。相談を受けた保育士が困難ケースとして対応が難しい場合は、主任や総務主任がアドバイス・サポートを行っている。</p> <p>○今後は、相談内容について必要に応じ職員間で共通理解を図り、家庭での虐待等権利侵害が行われないう虐待防止マニュアルの整備が求められる。</p>		

A-3 保育の質の向上

A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）		第三者評価結果
A⑳ A-3-(1)-①	保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a (b) c
<p>評価概要</p> <p>○保育実践の振り返りについては、年2回の自己評価・自己点検が行われており、互いの自己評価についてグループごとに振り返りの機会を設けている。また、自己評価を園全体の改善点にも反映し、改善できることから取り組みを行っている。</p> <p>○今後は、給食関係職員や非常勤職員等子どもと関わるすべての職員が自己評価を行い、自身の実践を振り返ることで、子どもたちへの支援の質がさらに向上すると思われる。</p>		